５月１８日（土）４限・５限　１・２年合同の探究活動

年　　組　　番（　　）

１　目　的

２年生のポスター発表を聞くことによって、仮説の設定から実証に至るまでの一連の探究活動（江風探究ユニット）について概要を把握し、新潟市の課題について理解を深める。また、１年生と２年生で意見交換を行うことで、課題発見力を高める。

２　日　程　　５月１８日（土）４限・５限

３　会場および担当者

４階	１－１	１－２	１－３	１－４	１－５	１－６	１－７	１－８	１－９
座席数	**４０**	**４０**	**４０**	**４０**	**４０**	**４１**	**４１**	**４１**	**４１**
１年生 名簿前半	１～20 番 計 20 名	１～20 番 計 20 名	１～20 番 計 20 名	１～21 番 計 21 名	１～20 番 計 20 名	１～20 番 計 20 名	１～20 番 計 20 名	１～21 番 計 21 名	１～21 番 計 21 名
２年生 旧クラス 班	1, 19, 37 55, 73 計 20 名	3, 21, 39 57, 75 計 20 名	5, 23, 41 59, 77 計 19 名	7, 25, 43 61, 79 計 19 名	9, 27, 45 63, 81 計 20 名	11, 29, 47 65, 83 計 20 名	13, 31, 49 67, 85 計 20 名	15, 33, 51 69, 87 計 20 名	17, 35, 53 71, 89 計 20 名
４限	鹿嶋	塚野	佐藤智	細山	齊藤	清水	霜鳥	石田	土屋 和田
５限	鹿嶋	塚野	佐藤智	間島	齊藤	清水	前田	石田	土屋 和田
補助	吉田正	本間	馬場	間島	永嶋	梅野	前田	関口	

３階	２－１	２－２	２－３	２－４	２－５	２－６	２－７	２－８	２－９
座席数	**39**	**38**	**40**	**39**	**41**	**41**	**40**	**41**	**42**
１年生 名簿後半	21～40 番 計 20 名	21～40 番 計 20 名	21～40 番 計 20 名	22～40 番 計 19 名	21～40 番 計 20 名	21～40 番 計 20 名	21～41 番 計 21 名	22～41 番 計 20 名	22～41 番 計 20 名
２年生 旧クラス 班	2, 20, 38 56, 74 計 21 名	4, 22, 40 58, 76 計 21 名	6, 24, 42 60, 78 計 20 名	8, 26, 44 62, 80 計 20 名	10, 28, 46 64, 82 計 20 名	12, 30, 48 66, 84 計 19 名	14, 32, 50 68, 86 計 19 名	16, 34, 52 70, 88+1名 計 21 名	18, 36, 54 72, 90 計 22 名
４限	青木	鈴木	桑原	井上	高橋	土田	小田	長島	奈良 佐藤
５限	青木	鈴木	桑原	井上	高橋	土田	小田	長島	奈良 佐藤
補助	川瀬	藤井	神田	藤塚	高山	山賀統	重松	新野	

※２－１と２－２について。足りない机・椅子は、２年生が第３選択教室から持ってくる。返却は持ってきた者が返す。

※座席は各会場の担当者の指示に従うこと。

４　当日の流れ

【昼休み後】１２：２０～　　筆記用具・ファイル等（２年生はポスターも）を持って会場に移動

【４限】１２：２５～１２：３５　資料配布、概要説明、発表準備

１２：３５～１３：０５　テーマ１～テーマ５についてポスター発表＆質疑応答
各班６分間の中で、４分の発表＋質疑応答２分を行う
（６分×５回、計３０分程度。テーマ１から発表する）

１３：０５～１３：１５　各自、ワークシートを完成させる

【５限】１３：２５～１３：３０　資料配布、概要説明、準備

１３：３０～１４：１０　１・２年合同グループ学習（探究活動について）

❶２年生の５つある班をそれぞれ２分割する（名簿前半と後半、２名・２名か、１名・２名など）。❷暫定的に１・２班（健康寿命延伸）、３・４班（雇用創出）、５・６班（農業・食文化の発展）、７・８班（持続可能な公共交通の構築）、９・10 班（インバウンド）とする。❸１年生約 20 名を名簿順に２名ずつ各班に割り当てる。❹各班で自己紹介、探究活動について質疑応答や意見交換（６分）。❺６分後、１年生は次のテーマの班に移動する。２つずつずれる（例　１班から３班へ。10 班から２班へ）。❻以上を繰り返し、全５回（６分×５回）の１・２年合同の班活動を行う。

１４：１０～１４：１５　ワークシート記入および自己評価

ワークシート（４限ポスター発表）

（１）ポスター発表の記録

テーマ１・健康寿命延伸【医療・福祉】（　　班）

テーマ２・雇用創出【経済・労働環境】（　　班）

テーマ３・農業・食文化の発展【農業・食糧、文化】（　　班）

テーマ４・持続可能な公共交通の構築【都市環境・交通】（　　班）

テーマ５・インバウンドの推進【観光・伝統文化】（　　班）

（２）新潟市の５つの課題のうち、最も興味・関心のあるものはどれか。〇をつけて理由を簡単に述べよ。

１健康寿命延伸　　２雇用創出　　３農業･食文化　　４持続可能な公共交通　　５インバウンド

【理由】※簡潔に

（３）上記の新潟市の課題に限定せず、いま自分が気になっている世の中の問題は何か。また、日頃疑問に感じていること、調べてみたいことは何か。箇条書きで、できるだけ数多く書き出せ。

（４）発表会全体を通して感じたことや考えたこと

【参考資料】２０１８年度・６８期・１学年の江風探究ユニットについて

１　目的

１年次の総合的な学習の時間の中で、「江風探究ユニット①～④」と称する探究活動を実施し、１年次より課題研究の手法を普及させることによって、探究力（課題発見力・仮説設定力・計画力・実証力・考察力・表現力）を向上させ、身近な課題を見つけ主体的・協働的に解決できる人材を育成する。

２　研究の内容と方法

(1)　実施日時（計 13 時間）

【江風探究ユニット①】（３時間）　４月 27 日（金）、５月１日（火）、８日（火）、各１時間
【江風探究ユニット②】（２時間）　７月　４日（水）、24 日（火）、各１時間
【江風探究ユニット③】（５時間）　10 月 10 日（水）１時間、10 月 17 日（水）、31 日（水）
【江風探究ユニット④】（２時間）　12 月５日（水）、12 日（水）、各１時間
【江風探究ユニット⑤】（１時間）　２月６日（水）１時間

(2)　研究内容

【江風探究ユニット①】（東西比較文化論の作成と発表）

「〇〇の東西」というテーマで東西比較文化論を作成し、クラスごとにスピーチによる発表を行った。国語総合（現代文）で山崎正和「水の東西」を行った後、１時間目に図書館オリエンテーションと調べ学習を行い、２時間目に原稿を作成し、３時間目に 90 秒程度のスピーチを実施した。探究活動に必要な文章読解力や資料を活用する能力の育成を目指した。

【江風探究ユニット②】（新潟市に関する課題の発見と考察）

「新潟市の課題を発見し、解決策を考えよう」というテーマで、グループ学習や講演会を実施した。１時間目に、各クラスでグループ学習を行い、生徒の目線で、新潟市の抱える問題について話し合い、解決策を考えた。２時間目に、新潟市の担当者（新潟市地域・魅力創造部政策調整課副主査・山際善裕様）による講演会を実施し新潟市の考える課題について学んだ。担当者が全般的な説明をした後、「新潟市からの挑戦状」という形で、１学年生徒全員に、問題提起がなされた。「新潟市からの挑戦状」への回答は、秋以降の探究活動の課題とした。以上の活動によって、生徒の課題発見力や仮説設定力、考察力の育成を目指した。

【江風探究ユニット③】（新潟市に関する仮説の設定と実証）

「新潟市からの挑戦状（５テーマ）について、仮説を設定し、実証する」というテーマで、グループ学習を実施した。「新潟市からの挑戦状」の５テーマは、１健康寿命延伸、２雇用創出、３農業・食文化の発展、４持続可能な公共交通の構築、５インバウンドの推進である。各クラス 10 班（９クラスで 90 班）を作り、グループ学習の形で仮説の設定と実証まで行った。５テーマをそれぞれ 18 班ずつ（約 72 名）で分担して探究を行った。１時間目に学年集会の形態で説明会を行い、２時間目と３時間目で、研究テーマとリサーチクエスチョン（研究全体で何を明らかにしたいのかを示す「問い」）を設定し、それに対して仮説（「答え」の予想）を作り上げた。次に、放課後の時間を使って、

各自で情報を収集し、仮説の真偽を検証した。４時間目と５時間目で考察を行い、結論を出した。仮説設定から結論に至るまでの一連の試行錯誤を通して、２年次の課題研究にもつながるような仮説設定力、計画力、実証力、思考力の育成を目指した。

【江風探究ユニット④】（ポスター作成と成果の発表）

「新潟市からの挑戦状（５テーマ）について行った探究活動を、発表しよう」というテーマで、ポスターを作成し、ポスター発表を行った。１時間目で、江風探究ユニット③の成果をポスターにまとめた。終わらない班は放課後にポスターを完成させた。２時間目に体育館にてポスター発表を行った。代表班（５班）がスピーチで発表し、その後、90 班がポスター発表を行い、質疑応答まで行った。また、当日は校外より新潟市や新潟大学、企業関係者等、計 18 名を招待し、ポスター発表の審査をしてもらった。代表して３名の来賓（新潟市　山際善裕様、新潟大学学長　髙橋姿様、新潟大学創生学部教授　熊野英和様､株式会社テクスファーム　小林友様)から講評をしてもらった。以上の活動を通して、２年次の課題研究にもつながるような表現力の育成を目指した。

【江風探究ユニット⑤】（成果を論文にまとめる）

「新潟市からの挑戦状（５テーマ）について行った探究活動を、論文にまとめよう」というテーマで、論文を作成した。仮説の設定から実証に至るまでの一連の探究活動（江風探究ユニット③）を論文にまとめ、２年次の課題研究にもつながるような表現力と思考力を養った。

ユニット	資料を活用する能力	探究力					
		課題発見力	仮説設定力	計画力	実証力	考察力	表現力
①	◎						
②		◎	◎				
③	○		○	◎	◎	◎	
④							◎
⑤		○	○	○	○	○	◎

（５月１８日４限・５限）事後アンケート【生徒用】

（１）あなたの課題発見力は、活動の前後それぞれ 10 段階でどのくらいだと感じていますか？　当てはまるところに〇をつけてください。

Level	㊦1	2	3	4	5	6	7	8	9	10㊤
活動前										
活動後										

（２）あなたの話す力（聞く力）は、活動の前後それぞれ 10 段階でどのくらいだと感じていますか？　当てはまるところに〇をつけてください。

Level	㊦1	2	3	4	5	6	7	8	9	10㊤
活動前										
活動後										

（３）あなたの考察力・分析力は、活動の前後それぞれ 10 段階でどのくらいだと感じていますか？当てはまるところに〇をつけてください。

Level	㊦1	2	3	4	5	6	7	8	9	10㊤
活動前										
活動後										

（４）感想があれば自由に記入してください。